

## 7. 大会報告書の申込み方法

大会報告書の申込みは原則メールにてよろしくお願いいたします。

	✉ メールによる申込み	📠 FAXによる申込み
申込み方法	ホームページよりダウンロード頂いた「大会報告書申込書」に必要事項をご記入の上、メールに添付いただき以下のアドレスまでご送信ください。なお、申込書のデータは表紙記載の千葉大会ホームページからダウンロードできます。  メール：chibataikai@jtb.com	ホームページよりダウンロード頂いた「大会報告書申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてご送信ください。  ※なお、必ず代表者のメールアドレス（携帯・PCいずれも可）のご記入をお願いいたします。  FAX：047-495-8187
申込み期間	2020年7月27日（月）～8月31日（月）	
申込みの流れ	①メールもしくはFAXにて「大会報告書申込書」を弊社までご送信ください。 ②メールもしくはFAX受領後、3日以内に「受付確認」のご連絡をメールにてお送りいたします。	
変更・取消	ご送信いただきました「大会報告書申込書」に変更内容（又は取消内容）をご記入いただき、●●月●●日までにメールまたはFAXにてお送りください。	
支払い期限	2020年7月27日（月）～9月10日（木） *上記期限内に必ずお振込みをお願いいたします。	
お支払方法	【銀行振込みのみとなります】 下記に記載いたします弊社口座までお振込みをお願いいたします。なお、お振込み手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。 銀行名：みずほ銀行 支店名：十二号支店 口座名：株式会社 JTB 普通口座：1290755 ※お振込み手続き時、お支払いいただきますお客様名の前に受付番号を入れてください。	

※間違い防止の為、お電話による受付・変更・取消はいたしませんので予めご了承ください。

第42回 全国公民館研究集会・  
第60回 関東甲信越静公民館研究大会千葉大会ホームページ  
(大会報告書申込書ダウンロードのご案内が掲載されています。)  
<https://kominkan2020chiba.localinfo.jp/>



### 個人情報の取り扱い

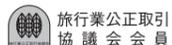
お申込書にご記入いただいたお客様の個人情報（氏名・住所・電話番号・メールアドレス等）につきましては、お客様との連絡、今大会における手続きに必要な範囲内において、(株)JTB千葉西支店及び大会実行委員会事務局が共同して利用させていただきます。

#### ■お申込み先

**JTB 株式会社 JTB 千葉西支店**  
(観光庁長官登録旅行業第64号、日本旅行業協会正会員)  
感動のそばに、いつも。〒273-0011 千葉県船橋市湊町2-1-1 ニッセイ船橋ビル4階  
TEL：047-495-8181 FAX：047-495-8187  
営業時間 月～金 9:30～17:30（土・日・祝祭日休み）  
【担当者名】 國重 亮太郎  
【総合旅行業務取扱管理者】 河野 吉彦



総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店での取引の責任者です。この旅行契約に際し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご連絡なく上記の総合旅行業務取扱管理者にお尋ね下さい。



#### ■大会についてのお問合せ先

大会事務局  
第42回 全国公民館研究集会  
第60回 関東甲信越静公民館研究大会  
千葉大会実行委員会事務局  
(木更津市立中央公民館内)  
〒292-8501 千葉県木更津市富士見1-2-1  
TEL：0438-25-4581 FAX：0438-25-4582  
Email：chuo-k@city.kisarazu.lg.jp

# 第42回 全国公民館研究集会 第60回 関東甲信越静公民館研究大会 千葉大会(兼 第72回千葉県公民館研究大会)

## 開催募集要項

期 日 2020(令和2)年11月19日(木)  
会 場 船橋市公民館  
テーマ つなぐ～公民館の限りない可能性～



千葉県PRマスコットキャラクター  
チーバくん  
千葉県許諾第A2188-2号

2008年、千葉県にて私たちは、「公民館の限りない可能性を求めて～変わらない理念が公民館を変えていく～」のテーマの下、これまで培われてきた公民館活動を見つめなおし、各地の公民館の更なる飛躍を誓い合いました。あれから12年。社会は大きく変化し、地域社会でもその変容や困難な状況の伸展もみられています。また、文部科学省の組織再編や自治体での公民館のあり方など、公民館を取り巻く状況も大きく変化してきました。

「公民館とは何か」。今、この問いに私たちはどう答えるのでしょうか。これまでも公民館は「地域」と「学び」に軸足を置き、暮らしと地域をつくる拠点として、その機能を担ってきました。そして、これからもその役割は変わることなく、様々な地域社会の困難を克服する拠点・出発点としての公民館の力に期待が寄せられています。

～人を、世代を、地域をつなぐ。時代をつなぐ。学びを次の一歩先へとつなぐ。～  
今、改めてこれらの「つなぐ」がこれからの公民館を創造する重要なキーワードとなっているのではないのでしょうか。そこで、今大会では公民館の変わらない理念を基に、「つなぐ」に注目しながら議論を深め、公民館の意義・役割・機能・可能性を再点検・構築したいと考えています。

近い将来に迎える「公民館の100年」に向けて、昭和・平成と先人が築いてきた公民館を、そしてその限りない可能性を新時代に着実に「つなぐ」とともに、全国の公民館・職員・関係者を「つなぐ」この大会を参加者全員で創り上げていきましょう。

本大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対応が必要となったことから、通常開催が困難なため、映像と大会報告書による開催方法に取り組むこととなりました。今大会を通して、少しでも多くの公民館関係者の「つなぐ」となるよう実行委員会一同で取り組んで参ります。ご理解とご協力をお願いいたします。

第42回 全国公民館研究集会・  
第60回 関東甲信越静公民館研究大会千葉大会ホームページ  
(大会報告書申込書ダウンロードのご案内が掲載されています。)  
<https://kominkan2020chiba.localinfo.jp/>



## 1. 主催

- ・公益社団法人全国公民館連合会
- ・関東甲信越静公民館連絡協議会
- ・千葉県公民館連絡協議会
- ・第42回全国公民館研究集会第60回関東甲信越静公民館研究大会千葉大会実行委員会

## 2. 後援

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・文部科学省</li> <li>・千葉県</li> <li>・千葉県教育委員会</li> <li>・千葉市長会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県町村会</li> <li>・船橋市</li> <li>・船橋市教育委員会</li> <li>・千葉県社会教育委員連絡協議会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK千葉放送局</li> <li>・千葉テレビ放送株式会社</li> <li>・株式会社千葉日報社</li> </ul> |
|---|---|---|

## 3. 対象者

- |  |   |   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館職員</li> <li>・公民館運営審議会委員</li> <li>・教育委員</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員</li> <li>・教育委員会事務局職員</li> <li>・社会教育関係施設職員</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館利用者</li> <li>・社会教育団体関係者</li> <li>・生涯学習関係者 他</li> </ul> |
|--|---|---|

## 4. 大会報告書の頒布（受付期間：7月27日～8月31日までにお申し込みください。）

1冊 1,000円（郵送代含む。令和3年2月頃発行）

内容 主催者挨拶・来賓者挨拶・全公連表彰者一覧・全体会概要・分科会（詳細な実践報告・助言者のコメント）・大会アピール・大会までの記録・全体会DVD（基調講演・リレートークを収録）

## 5. 全体会 11月19日（木）以降、全公連YouTubeチャンネルで視聴公開予定

全体会撮影場所 船橋市西部公民館

内 容	
テーマ	「つなぐ ～公民館の限らない可能性～」
基調講演（約40分）	講師：長澤 成次 氏（放送大学千葉学習センター所長 千葉大学名誉教授）
リレートーク（約50分）	登壇者：【進行】長澤 成次 氏【発表者】千葉県内公民館関係者4名、実践報告者2名（敬称略・順不同）
	○中村 愛（千葉市若松公民館）「子どもお菓子作りリーダー養成講座」
	○石井 一彦（木更津市立富岡公民館 館長）「木更津市公民館実践交流会」
	○寺田 真理子（船橋市／市民／生涯学習コーディネーター）「地域をつなぐ～生涯学習コーディネーター」
	○福原 規夫（鋸南町中央公民館 館長）「2019年台風・豪雨災害被害」
	○小川 礼子（特定非営利活動法人あいらんど理事長）「浦安市当代島公民館『カフェ・デ・あいらんど』」
	○中村 亮彦（千葉大会実行委員会事務局次長／君津市周西公民館）「千葉県公連の活動と今後の公民館連絡協議会の役割」

## 6. 分科会 実践報告と助言者コメントを、大会報告書（令和3年2月頃発行）に掲載

	分科会名（テーマ）	報告事例概要・助言者 *敬称略	運営担当
1	公民館職員の専門性と学び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土浦市立公民館の連携と地域住民との協働による職員の資質向上を目指した公民館づくり／茨城県土浦市</li> <li>・千葉県公連初任職員研修の取り組み</li> </ul> <b>助</b> 長谷川 幸介（茨城県生涯学習・社会教育研究会 会長）	茨城県公民館連絡協議会
	公民館職員に求められる役割や専門性を模索し、その力量を高める学びや姿勢について考える。		
2	これからの公民館の管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティと公民館の運営再編の動き／千葉県東金市</li> <li>・“社会教育推進員”の活動について／千葉県袖ヶ浦市</li> </ul> <b>助</b> 川野 佐一郎（東京福祉大学 非常勤講師）	千葉県東上総ブロック
	各地で見られる公共施設再編、複合化、また公民館運営の多様化をふまえ、住民と共に歩むこれからの公民館運営を考える。		

	分科会名（テーマ）	報告事例概要・助言者 *敬称略	運営担当
3	地域防災と公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年教育施設の災害復旧拠点としての可能性について／南房総市大房岬自然の家</li> <li>・台風15号、19号の際、避難所運営を体験して 公民館職員の役割は／千葉県鋸南町</li> </ul> <b>助</b> 降旗 信一（東京農工大学 教授）	東京都公民館連絡協議会
	防災学習、災害に強い地域づくりへの取り組み、そして災害時の拠点など、地域防災における多様な公民館の役割と可能性について考える。		
4	博物館・図書館と公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大和市文化創造拠点シリウスでの事業連携について／神奈川県大和市</li> <li>・連携で情報発信力アップ！－公民館と図書館の実践報告／千葉県浦安市</li> </ul> <b>助</b> 新井 孝男（日本公民館学会 前副会長）	神奈川県公民館連絡協議会
	博物館・図書館等、同じ社会教育機関と共に取り組む公民館事業の可能性と、それらを通じた新たな公民館像を考える。		
5	家庭教育支援と公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聖籠町の家庭教育支援／新潟県聖籠町</li> <li>・子育て支援サポーターの取り組み／千葉県千葉市</li> </ul> <b>助</b> 立柳 聡（福島県立医科大学 准教授）	新潟県公民館連合会
	家庭教育に関する学習の機会や情報の提供など、今後の家庭教育支援に取り組む公民館の視点とその果たすべき役割・事業展開を考える。		
6	若者と公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20代の若者を中心にした「青年サークル」／千葉県東庄町</li> <li>・ダンスによるまちづくり／千葉県山武市</li> </ul> <b>助</b> 青山 鉄兵（文教大学 准教授）	千葉県北総ブロック
	10～20代の若者と公民館・地域の関係性の構築や、そのために公民館に求められる役割・取り組みについて考える。		
7	高齢者の学び・活動と公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高齢社会から幸齢社会へ」／千葉県流山市</li> <li>・公民館と地域をつなげる生涯学習コーディネーターの活動／千葉県船橋市</li> </ul> <b>助</b> 越村 康英（千葉大学他 非常勤講師）	千葉県東葛飾ブロック
	高齢者の豊かな知見が活きる取り組みや、高齢者の学びや活動を支える役割など、一層伸展する高齢社会における公民館のあり方を考える。		
8	公民館運営・事業に生かす人権の視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MIACIS（ミアキス）で取り組む、中高生に対する居場所づくりとキャリア教育／山梨県韮崎市</li> <li>・小学校や地域団体と連携した人権教育事業／千葉県君津市</li> </ul> <b>助</b> 細山 俊男（社会教育・生涯学習研究所 所長）	山梨県公民館連絡協議会
	多様な視点からの地域づくりに向け、身近な人権感覚を育む取り組みから公民館運営や事業のあり方を考える。		
9	グローバル社会と公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市の公民館における身近な国際交流の取り組み／千葉県千葉市</li> <li>・コスモス会（日本語教室）の取り組みについて／千葉県酒々井町</li> </ul> <b>助</b> 水口 章（敬愛大学 教授）	千葉県千葉市ブロック
	国の垣根を越えて人・情報が交わる社会において、多様な住民がつどい、ともに輝くまちづくりに向けて、地域の公民館の今後の可能性を考える。		
10	学校・家庭・地域をつなぐ公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校と公民館の連携／埼玉県春日部市</li> <li>・新たな中郷を目指して！～学校統合を経て地域課題と向き合う／千葉県木更津市</li> </ul> <b>助</b> 内河 大和（埼玉県教育局市町村支援部生涯学習推進課 主席社会教育主事）	埼玉県公民館連絡協議会
	学校・家庭・地域と連携して共に歩む公民館のあり方を模索し、地域全体の教育力向上に果たす公民館の役割を考える。		
11	時代をつなぐ公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と共に生き、時代をつなぐ公民館／群馬県沼田市</li> <li>・住民と共に取り組む公民館だより「館報せいわ」／千葉県君津市</li> </ul> <b>助</b> 上田 幸夫（日本体育大学 教授）	群馬県公民館連合会
	長く続き、愛され、現代へ継承されてきた各地の公民館事業実践から、地域の過去と現在と未来をつなぐ公民館の役割と意義を考える。		
12	世代をつなぐ公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よみがえった盆唄・盆踊り（雨宮県音頭）／長野県千曲市</li> <li>・ハッピーメーカー必ず実行委員会によるサカサマ学級の取り組みについて／千葉県木更津市</li> </ul> <b>助</b> 筒井 美保子（長野県生涯学習推進センター 公民館支援専門員）	長野県公民館運営協議会
	子どもから高齢者まで様々な年代をつなぐ、つながろうとする機運を高める公民館の役割と意義を考える。		
13	学びをつなぐ公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・益子町町民大学の取組について／栃木県益子町</li> <li>・館山まるごと博物館～足もとの地域から世界をみる／千葉県館山市</li> </ul> <b>助</b> 志々田 まなみ（国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官）	栃木県公民館連絡協議会
	学びを広げる、深める、展開するなど、住民の公民館での学びをその一歩先へとつなぐ公民館の役割と意義を考える。		
14	公民館Q & A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館職員2名よりそれぞれの公民館勤務を振り返り、話題提供をしていただきます。／埼玉県和光市・東京都北区</li> </ul> <b>助</b> 石井 一彦（木更津市立富岡公民館 館長）	分科会運営部会
	公民館の役割とは？公民館職員の仕事とは？など様々な悩みや疑問を持ち寄り、経験豊かな職員と一緒に考え、語り合う機会とする。		